



審査シート

ジェルリフォームコンテスト2024

エントリー番号

5-2-0149-0

タイトル

赤と青の大人の隠れ家

応募部門:下記より **ひとつ**を選んで●を入れてください

- 戸建て全面 マンション全面 リビングダイニング
 キッチン サニタリー 個室
 外まわり 玄関・ホール

基本情報

邸名	M様邸		築年数	38年	構造	RC	造	7階建
該当部分工事費	1,200万円	総工事費	1,200万円	建築確認申請の有無		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
増築面積	0㎡	減築面積	0㎡	居住者	15歳未満	人	15歳以上65歳未満	2人
改装面積	51.06㎡	※増築・減築の面積を除く		構成	65歳以上	人	ペット	
建物の履歴 (自宅、中古購入、空き家活用などの情報)				<input type="checkbox"/> 施主の居宅	年居住	<input checked="" type="checkbox"/> 空き家または中古住宅の活用		
所在地	都道府県	京都府	市町村	京都市	完成年月日	2023年12月7日		

施主様ご要望:リフォームの動機(140字程度で)

京都の観光地・嵐山の近隣マンションの一室を府外にお住まいのご夫妻が購入された。月の半分程度を過ごすセカンドハウスとして、ホテルに宿泊しているかのような非日常感を味わえる空間へリフォーム。お施主様こだわりの赤いレザーソファに合う、少し尖ったデザインを取り入れることを要望された。

プラン決定のポイントと工夫(140字程度で)

設計・施工の工夫点、住宅価値を向上させた内容など

ホテルライクな非日常の雰囲気と仕掛けを徹底。赤いソファが映えるよう、ブルーのフローリングを大胆に施工。ハイカウンターでバーのような空間で食事を楽しめるDKとし、リビングの広さも確保。その他、タイル貼りの浴室など多くの工夫を施し、様々な非日常のシーンを独り占めできる「大人の隠れ家」を実現した。

施主様ご感想:満足度など(140字程度で)

ブルーのフローリング、タイルのバスルーム、サウナ、バー、ホームシアター、数々の非日常の演出を取り入れてもらえ、理想通りの住まいが出来上がった。実際の面積よりも広く感じる工夫も、とても嬉しい。断熱性も上がって京都の夏・冬を快適に過ごせそう。大人の隠れ家ライフを、これから存分に楽しみたい。

性能向上の特性 (複数選択可)

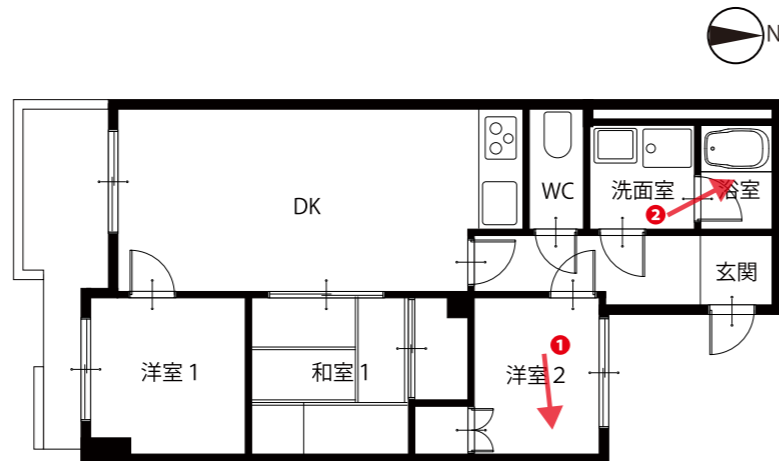
- 劣化対策 耐震性 維持管理
 可変性 省エネ バリアフリー

選択した性能向上の特性で特に配慮した点(50字程度で)

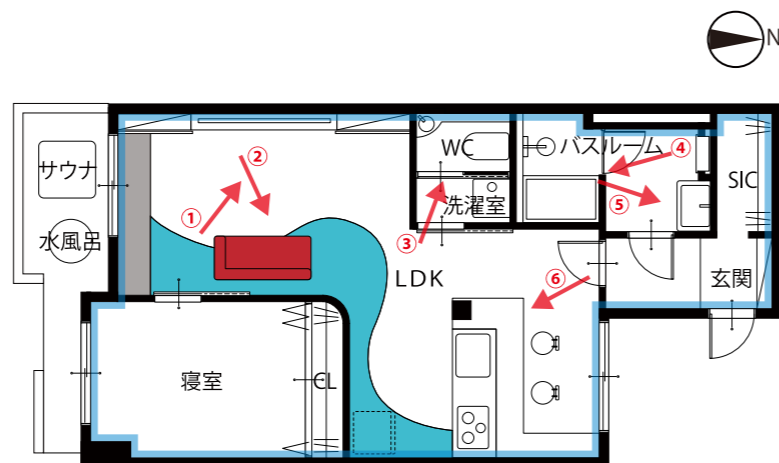
外周面全てに湿式セルロース断熱施工を行い、夏は暑くて冬は寒い「京都」の生活を快適に過ごせる性能向上も同時に行った。

性能向上で、準拠・参考にした数値 (性能表示の等級など)

(※わかれば改修前の性能数値と改修後の性能数値を記入)



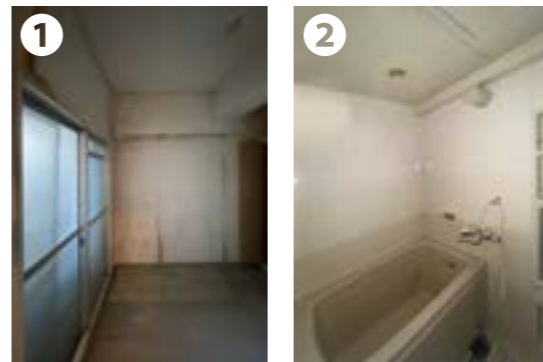
リフォーム後の平面図



■ 外周壁内側に湿式セルロース断熱

※1階には広めのテラス付きの物件。高いブロック塀に囲まれているので、人目は気にならない。

リフォーム前の写真



暗い印象で空気の流れも悪く、全体的にカビが発生していた各部屋。ホテルライクにはほど遠い、建築当時のままのタイル貼りの浴室。

リフォーム前またはリフォーム後の写真 (どちらでも構いません)



リビングの壁面には、引戸を開けるとスクリーンが登場。見せる収納とホームシアターの2way仕様。広めのテラスにはテントサウナと水風呂用プールを設置。濡れたまま室内へ入れるよう、テラスに面する部分の床には滑りにくく汚れにくいタイルを採用した。

リフォーム後の写真 (作品テーマ、工事内容が明確に分る内容の写真。写真4枚程度)



施主こだわりの赤いソファを中心に据えたリビング。個性的なフローリングは、見切り材を使用せず、ブルーとダークブラウンの無垢材を突き合わせて施工。丸みのある有機的なソファの形状に合わせてフローリングはテラス側からキッチンへ流れるような曲線を描き、寝室とキッチンの間仕切りもRとした。



非日常的演出を優先し、脱衣室からは洗濯機を排除しトイレ手前にランドリースペースを配置。トイレの照明はペンダントライトのみで、シックな雰囲気に仕上げた。隣に洗面台がない代わりに内部に大きめの手洗いを取り付けました。



全面タイル貼りにし扉をガラスにすることで、視覚的に境界線を無くし実際よりも広く感じる。浴室内にニッチを設け、シャンプーラックなどを必要とせず、生活感を徹底的に排除。ニッチや鏡に間接照明もプラスしてムードある演出も。脱衣室には洗面台と小物用ニッチをで、落ち着いた空間で、保湿ケアなどのお手入れもゆっくり行える。



キッチンとリビングを対角に配置することで、コンパクトな室内に視線の動きと抜けが生まれ、実際の面積より広く感じる。テーブルを置かずハイカウンターとし、バーのような空間で食事を楽しめる。LDK入口建具やキッチンの腰壁、リビング壁面収納の棚板などを床と同じブルーに塗装し、統一感のあるLDKに仕上げた。